



社会福祉法人 敬愛会

敬愛の森だより

2023. 4. 1
 4月号 No.96
 発行：敬愛の森
 責任者：青木 澄雄

～元気なシニアの居場所！！ 地域でいつまでも自主した生活を～

おかげさまで敬愛の森は9年目を迎えました

青木理事長と湯原センター長に今後の活動予定と、オープン時から勤務している職員、入居している方のお話を伺いました。(2～3ページ参照)

身近な春の花々

春の訪れとともに行き交う人々を楽しませてくれる遊歩道の花々



ハナニラ

春に咲くオオルリムスカリ



地域の方たちに愛される南台広場の枝垂れ桜がライトアップ



八坂駅近くの桜並木と椿



森のガーデンの花々

ユキヤナギ



掲示板の下に力強く咲いてくれたタンポポ



裏庭のはなもも



看護小規模のみなさんもお花見を楽しみました



花より団子？ピーナツさんたちのお花見。いつも折り鶴作品を創ってくださるデイサービスの〇さん母娘の作品です



青木理事長と湯原センター長に今後のことを伺いました

Q:敬愛の森も9年目に入り、新型コロナも制限緩和され新しい局面を迎えました。今後どのようなことに取り組もうとお考えですか？

理事長:人生 100 歳が当たり前の時代になって、100 歳まで健康で元気に楽しく過ごすにはどうすればよいのか。毎年の健康診断の結果などいろいろな情報から一人ひとりについてみれば必ず課題が見えてくる。何をすればよいか、どう条件を整えればよいか、その条件を見つけてあげることで、やるべきことが決まってくるのではないかと思う。

6年前に「100 歳クラブ」を立ち上げ、毎月一人ひとり身体チェックやアドバイスをを行い、「100 歳御膳」を始めたけれど、6年前よりいっそう長寿が身近なものになっている。生活の仕方によっては 100 歳は遠いことではないので、そういった取り組みをしていきたい。

Q:制限緩和になったとはいえ、身近なところで行くところがない、人と集える機会がないという人が多く、食堂の再開を待ち望んでいますね。

理事長:“健康で元気に楽しく”と考えたとき、みんなが集まれる「森の食堂」の存在は欠かせない、絶対やめるわけにはいかないと思っている。これは毎月の「お誕生日会」にもいえることで、これまで敬愛の森がやってきたことは間違っていないと思う。

食堂やお誕生日会の開催について、受け入れ態勢を整えて、早く再開しなくてはならない。少しずつでも広げていきたい。

Q:食堂やお誕生日会の再開を早くとおっしゃっていますが、そのあたりはどうでしょうか？

センター長:早く元の状態に近づけるようにしたいと思っております。しかしながら、重症化リスクの高い高齢者施設では慎重にならざるを得ないのが現実です。具体的には、営業時間の短縮や人数制限、座席間隔の拡大、お誕生日会ならテーブルの人数を減らすとか、いろいろ考えられます。

また、4 ページで述べたような諸々の課題もあります。それらを一つ一つを解決していき、いつかみな様のご期待に沿えるようにしたいと思っています。

コンサートについては、5月、6月と9月には実施できる予定です。これら以外でもいくつかのコンサートを実施するつもりです。その他のイベントについても計画中ですが、その際人数制限をさせていただく場合もあります。

詳しいことは決まり次第お知らせいたします。



湯原センター長(左)と青木理事長(右)



3月のお誕生日

ショートステイで

花束をプレゼントし、みんなでHappyバースデーを歌ってお祝い。Kさんはオーダー・ハッピーバーンと同年、Mさんはマリリン・モンローと同年と聞いて、みなさん「へえ〜！」と驚きの声。



お祝いのあとは新聞紙をどれだけ長くちぎれるか競います。熱が入ります



〇さん 95 歳
おめでとうございます！



グループホームで

ご利用者様で最高齢 102 歳になられた S さんのお祝いカードには、「いつも職員を気遣っていただきありがとうございます」のメッセージがありました。



看護小規模で

Kさん、Iさん、Iさん、おめでとうございます！

Happyバースデーを3回歌って祝いました。涙ぐむKさんになりまして。



初田さん(30代) 看護小規模多機能 敬愛の森 介護福祉士

私は2015年の敬愛の森オープン時から勤務しています。ショートステイに5年、グループホームに2年3か月いて、現在看護小規模に移って10カ月になります。今は看護小規模の仕事に慣れるのに必死です。というのも看護小規模は「訪問」というご利用者のご自宅に入って援助する仕事があり、私にとっては初めての仕事だからです。



どのサービスもご利用者、ご家族に満足していただけるサービスを提供するのは当然のことですが、ご利用者の人数制限があり、ご利用者の変動も少ない看護小規模やグループホームと違って、ショートステイは利用人数に制限がなく、100名近くのご利用者がいます。一人ひとり覚えないといけないこと、考えないといけないことが多々あります。こちらの対応次第ではご利用されなくなるなど、気を遣い、緊張もありました。

気が付けば9年目、あっという間でした。いろいろなサービスを経験できることは、複合施設ならではの、大変勉強になります。

今後は、ケアマネジャーの資格を取ったので、ケアマネジメントの仕事をやってみたいですね。



Tさん(92歳) サービス付き高齢者住宅居住



コロナですべてがアウトになったというTさんは、コロナ前の高齢者住宅の暮らしを懐かしみます。同じころに入居した人たちと定期的に茶話会やビデオの鑑賞会を開いたり、お正月はみんな揃って八坂神社に初詣に出かけたり、湯原センター長と東大和の寿司屋に出かけたりしていたそうです。

森のコンサートや毎月のお誕生日会にはおしゃれをして欠かさず参加していました。今はコンサートもカラオケもないのでさみしいといいます。たまに面会にくる娘さんと会うのが何よりの楽しみです。

Tさんが入居したのは森がオープンした年で、もうすぐ8年。現在要介護2で、訪問介護とデイケアを利用、手すりシニアカーをレンタルで利用しています。近隣の歯医者や通院、買い物にはシニアカーで出かける行動派です。

食事もあるし住み心地は悪くないとおっしゃり、コンサートなどイベントの再開を心待ちにしています。

シニアカーでさっそうと



松本さん 看護小規模多機能 敬愛の森 看護師

看護小規模に8年間勤務しています。最初の2年間はこの介護保険のサービスが知られていなくて、利用者が3~4人にスタッフが10数人で、他の施設や部署に手伝いや研修に行っていました。



今では20人以上のご利用者様がいて、認知症の方やマヒのある方、バルーン装着、在宅酸素の方など、病気や障害の程度も違います。利用の仕方も在宅中心の方、通所の方、泊まりを利用する方もいます。サービス付き高齢者住宅に入居されている方もいます。

医療ケアが必要な方々ですから、毎日バイタルチェックや水分量や食事量の把握、服薬管理、排尿・排便コントロールなどを行っています。看護師は4人勤務しています。

ご家族やご本人の希望で、主治医、看護職、介護職と連携してご自宅で看取りをすることもあります。8年間たち、開設間もなくから利用されていた方やずっと在宅で過ごされていた方が、昨年中に亡くなり、今まで数多くの出会いと別れを経験してきたと思ひ返されます。



Hさん(70代) シニア雇用 清掃・シーツ交換担当



私は敬愛の森がオープンした2015年6月から、シニア雇用で館内の掃除と週2日のサービス付き高齢者住宅のシーツ交換の仕事を始めました。それまで高齢者施設の厨房で働いていて定年となり、自宅近くで働けるところはないか探していたところ、森の食堂のフロアで働いていた友人に紹介されたのです。

最初は2人で始め、数年間は4人で行っていました。今は女性3人でやっています。オープン時から働いているのは私だけになりました。今では顔馴染みのご利用者さんも多く、挨拶したりちょっとした会話も楽しいです。

長く続けられるのは家が近いからです。自転車ですぐのところ、歩きも苦にならない距離です。高齢者にとっては職住近接これが一番。まだまだ頑張りたいと思っています。



シーツ交換の準備中です

近隣のみな様へ

みな様お元気でお過ごしでしょうか。コロナ感染症が流行り始めてから早4年目、マスク着用も緩和され、マスコミで報道される感染者数も目立たなくなりましたが、まだまだ油断はできません。6月に再度ワクチン接種も計画されています。

敬愛の森では、現在も入館時のマスク着用をお願いしています。引き続き入館制限、面会の制限、食堂の営業中止、イベント・コンサートの実施見送りをしています。

しかし、5月の5類への移行後は徐々に元の状態へ戻していきたいと思いい準備を始めています。しかし、食堂に関しては、再度の消毒、人員の確保、新しい提供方法の検討等の課題が残っています。さらに最近の諸物価高騰のあおりを受け、食材の値上がりも激しく、調整に苦慮しています。早くみな様のご期待の応えるべく計画を練っています。

1日も早くみな様に気軽にお越しただけできるよう、準備していきますので今しばらくお待ちください。

なお、コンサートについては、2ページで述べたとおりです。

イオンフードスタイルの移動販売車が来ました！



4月6日(木)敬愛の森の駐車場はたくさんの方で大賑わいでした。まさに動くスーパー、品数の多さにびっくりです。野菜、果物、魚、肉、パン、お菓子、弁当、調味料、米、日用品等々。ないものは注文も受け付けます。気軽に買い物に行けない人には大助かりです。

毎週木曜日 15:30~15:50
敬愛の森 玄関前駐車場

※開催日・販売日は変更になることがあります。

トピックス

頑張ってるね里桜(りお)ちゃん

中央公園で出会った真っ白に輝くピレネー犬、里桜ちゃん10歳。友人たちとなでなでさせてもらいました。がんの手術を4回乗り越え、散歩ができるようになったそう。飼い主さんの愛情に包まれた元気な姿に励まされました。



咲き始めたトキワマンサクの間から「東京ラブソデイ」が見えました

散歩中のEさんの楽しみは・・・

散歩中のEさんは敬愛の森の生垣の隙間からデイサービスの窓を見て、歌体操の歌詞が書かれた紙を見つけました。「サザエさん」「高原列車は行く」「リンゴの唄」など…。そこで1曲歌って散歩を続けるのが日課になりました。なんだか愉快的なEさんですね。

『敬愛の森だより』100号を迎えるにあたって

『敬愛の森だより』も今年の8月号で100号になります。コロナによる自粛で森の食堂を始めイベントが中止となり、敬愛の森の活動や地域のみな様の様子をお伝えすることができなくなりました。この間お役に立てる記事、楽しんでいただける記事は何だろうと悩みながら創ってまいりました。100号を前にみな様のご感想やご意見、ご要望をお寄せください。

送迎ドライバー募集中！

敬愛の森では現在ご利用者様を送迎して下さる方を募集しています。年齢制限はなく、男性、女性、明るく元気な方大歓迎です。送迎車は白ナンバーなので普通免許でOKです。詳しくはご相談ください。



南台シニアセンター・敬愛の森
〒189-0024

東京都東村山市富士見町1-14-3

電話：042-306-3199

FAX：042-306-3198

E-mail：mori@keiaikai.org



広報紙担当：橋本・木村・深沢